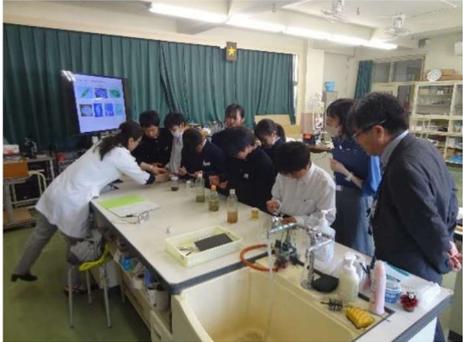
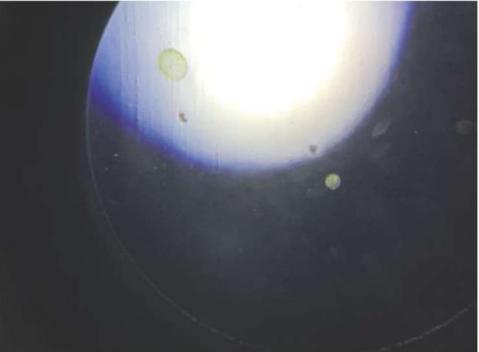


【顕微鏡を用いた生物の観察における活用事例】

学校名	三次市立甲奴中学校	
対象	第1学年	
単元	(1) いろいろな生物とその共通点 (ア) 生物の観察と分類の仕方	
本時のめあて	「水の中の小さな生物を顕微鏡で観察してみよう」	
バザールで受領し、本単元で使用した教材生物	ミジンコ、ゾウリムシ、ミドリムシ、ミドリゾウリムシ、アメーバ、ボルボックス、ヒドラ	
授業風景	 <p>プレパラート作成</p>	 <p>タブレットで撮影</p>
生徒記録写真		
		
生徒の振り返り	<p>○いろいろな生き物の観察ができて見る事ができた。</p> <p>○しっかり見れた。ぼくはミドリムシやヒドラを見た。色は緑で、形は丸かったり長かったりした。ヒドラは中に丸い球があった。</p>	

生徒のようす	1時間の授業でしたが、手際よくプレパラートを作成し、各自が数種類の生物を確認することができていました。スケッチをする予定でしたが、できるだけ多く観察することに時間をとったため、タブレットでの写真撮影になりました。初めて見る、名前を聞く生物ばかりだったと思いますが、興味・関心をもって意欲的に取り組んでいました。
--------	---

【本時例のポイント】

○教材生物バザールで受領した微生物を顕微鏡を用いて観察を行い、観察器具の扱い方や観察記録の取り方などを身に付けさせています。また、生徒は観察した生物を比較して共通点や相違点を見いだしており、分類の仕方の基礎的な技能につながっていくと考えられます。生物に対する興味・関心を高めながら活用されています。